

<交付対象事業の名称>

すべての人に居場所と出番あり、自分らしく生き生きと暮らすことができるまちづくり

<概要>

「人がつながる 創造が生まれる しなやかさのあるまち」の実現を目指すためには、多様な分野において相互に多彩な取り組みを展開していく必要がある。本事業では、地域でのワークショップ開催や魅力発信、移住を促す事業から民間事業者への支援まで、幅広い内容の事業を実施していく。

<2024年度（1年目）>

●交付対象事業費におけるソフト事業経費

○地区別ワークショップ

地域に関係する様々なステークホルダーがワークショップを通じて連携し、自分たちの住む地域の課題を見つけ、解決策を考えていくことで、住民自治の意識を形成していく。3年かけて市内の全校区でワークショップを開催し、1年目の本年度は12校区を対象とする。ワークショップのテーマについては1巡ごとに設定し、1巡目となる2024～2026年は地域の宝である子どもたちを地域全体で守り、育む意識の向上を目指し、通学路の安全をテーマにしたワークショップを開催する。

- ・委託費：4,000千円
- ・需用費：1,180千円
- ・使用料及び賃借料：820千円

○移住定住情報発信事業

居住地を検討している方が本市での暮らしを具体的にイメージできるように、市内外のローカルキーマンの視点で、岐阜で暮らすことの魅力を発掘し、岐阜ならではの暮らしを体感できるイベントや、その魅力を発信するイベントを開催する。また、20代、30代に向けたアピールのため、岐阜市の魅力的なコンテンツを市民ライターが取材し、作成した記事をWEB上で発信していく。

- ・委託費：5,368千円

○歴史博物館デジタルアーカイブ構築業務委託

本市の歴史博物館では常設展示室の展示設備を更新し、展示内容の充実を図るため改修事業を進めており、令和8年度にリニューアルオープンを予定している。このリニューアルに連携し、歴史博物館が所蔵する約30,000件の資料を順次デジタルデータ化し、デジタルアーカイブも公開することにより、どこでも本市の魅力的な歴史、文化に触れることができ、本市のファンの獲得につなげる。1年目はシステム導入と収蔵品のデジタル化を進める。

- ・委託費：3,005千円

○eスポーツ交流会事業

eスポーツは若者の生きがいづくりやICT人材の育成、高齢者の介護予防等、活用できる分野が多岐にわたり、新たなまちづくりのツールとして期待できる。1年目である本年度は、年々注目度が上昇しているeスポーツを気軽に体験し、魅力を感じることができるイベントを開催することにより、本市の新しい魅力として定着させ、交流人口、関係人口の創出のきっかけとする。

- ・負担金：2,000千円

○喫茶文化振興事業

岐阜市の喫茶文化及び市内喫茶店を紹介するPR用チラシを作成し、市内観光施設や宿泊施設、県内道の駅等に配布する。また、「ぎふ信長まつり」に本市及び一宮市の喫茶ブースを設置し、それぞれの魅力を紹介するなど、本市の喫茶文化を市内外にPRし、喫茶文化の振興を図り、シビックプライドの醸成及び本市の認知度向上を目指す。

- ・委託費：367 千円
- ・印刷費：130 千円
- ・消耗品費（フレーム、イーゼル等）：115 千円
- ・郵送料：264 千円

○これからの公共交通体感事業

自動運転バスなどこれからの公共交通を、未来を担う子供たちに見て、触れて、感じてもらうため、岐阜市科学館において、自動運転バスの乗車体験や自動運転技術の展示などを、モビリティマネジメントの一つとして実施する。その他にも、官民連携の取り組みとして、交通事業者などと公共交通イベントを併せて開催する。それにより本市にとって、観光や日常生活等様々な場面において、非常に重要な交通手段であるバスに関心を持ち、自動運転にいち早く取り組む本市へのシビックプライドの醸成を目指す。

- ・負担金：2,500 千円
- ・消耗品費：320 千円
- ・印刷製本費：37 千円
- ・委託費：573 千円

○岐阜市中小企業等 DX 研修補助金

生産年齢人口が年々減少している中、DXによる業務の効率化や多様な働き方により若者に選ばれる企業となる必要がある。しかし令和5年7月の市内景況調査でDXの取り組み状況を調査したところによると、49.4%の企業が取り組みの予定なしと回答しており、市内企業にDXがあまり浸透していないことが分かった。また、DXに向けた課題では、「スキル・ノウハウがない」「人材の不足」で41.5%を占めている。そこで市内中小企業が人材育成のためにDX研修を受講する費用を補助することで、DXに取り組む企業を増やし、地域経済の活性化につなげる。

- ・補助金：480 千円

○スタートアップ創出事業

本市が以前より力を入れて取り組んでいるスタートアップ支援事業をさらに拡大して取り組む。市内のNeo work-Gifuを活用し、起業家等との交流イベントを継続していくことに加え、首都圏や愛知県での誘致活動や近隣大学との連携強化等を図ることにより、本市でのスタートアップ企業の創出を目指す。

- ・委託費（専門家派遣業務）：752 千円
- ・委託費（GIFU IGNITE in TOKYO 業務）：2,160 千円
- ・委託費（大学連携業務）：260 千円
- ・印刷製本費：100 千円
- ・賃料：528 千円
- ・負担金：275 千円
- ・報償費：740 千円

○新卒人材採用ブランディング補助金

2040年の本市の人口構成では生産年齢人口が55.3%になると推定されており、今後労働力不足の状態が慢性化することが懸念されているなか、岐阜県内の有効求人倍率は高止まりし、市内中小企業は市内の人材のみで労働力を充足するのが困難な状況にある。そこで広く全国から新卒人材の採用に挑戦する市内企業を対象に、自社の労働市場におけるブランド力を高めるための「採用ブランディング」の取り組みの経費を一部補助することにより、企業の採用力向上と労働人口の確保を目指す。

- ・補助金：5,000千円

○タクシー運転手雇用支援事業

本市において、タクシーは観光や日常生活に欠かせない交通手段であるが、運転手が減少傾向にある。そこでタクシーの公共交通としての重要性や、運転手の魅力等を紹介する冊子を作成・配布することで、タクシーの利用促進とともに、タクシー運転手の人材確保を目指す。

- ・負担金：600千円

○ワークダイバーシティ&働きがい改革推進事業

岐阜市ワークダイバーシティ&働きがい改革推進協議体の理念や目指すべき方向性を市内企業に波及させ、岐阜市の企業が人々から選ばれる企業になるとともに、市内の雇用を創出する。1年目となる本年度は、大学生や求職者、一般市民を対象に、企業説明会及び交流会等を開催し、協議体のPRを行う。

- ・報酬：92千円
- ・旅費：10千円
- ・需用費：1千円
- ・委託費：3,830千円

●交付対象事業費におけるハード事業経費

○これからの公共交通体感事業

自動運転バスなどこれからの公共交通を、未来を担う子供たちに見て、触れて、感じてもらうため、岐阜市科学館において、自動運転バスの乗車体験や自動運転技術の展示などを、モビリティマネジメントの一つとして実施する。その他にも、官民連携の取り組みとして、交通事業者などと公共交通イベントを併せて開催する。それにより本市にとって、観光や日常生活等様々な場面において、非常に重要な交通手段であるバスに関心を持ち、自動運転にいち早く取り組む本市へのシビックプライドの醸成を目指す。

- ・備品購入費：70千円（DVD、展示用照明器具）

<2025年度（2年目）>

●交付対象事業費におけるソフト事業経費

○地区別ワークショップ

地域に関係する様々なステークホルダーがワークショップを通じて連携し、自分たちの住む地域の課題を見つけ、解決策を考えていくことで、住民自治の意識を形成していく。3年かけて市内の全校区でワークショップを開催し、1巡ごとにワークショップのテーマを設定する。1巡目は、地域の宝である子どもたちを地域全体で守り、育む意識の向上を目指し、通学路の安全をテーマとしてワークショップを開催する。2年目となる本年度は、1年目でワークショップを開催した12校区については、結果をもとにした対策を進めていき、次の15校区でワークショップを開催する。

- ・委託費：4,000千円

- ・ 需用費：1,180 千円
- ・ 使用料及び賃借料：820 千円

○移住定住情報発信事業

1年目に開催した、岐阜で暮らすことの魅力を発掘し、岐阜ならではの暮らしを体感できるイベントや、その魅力を発信するイベント等をもとに、市内外のローカルキーマンを核にその魅力をイベントや SNS 等で拡散し本市との転出入が多い、名古屋や東京の都市部を中心に本市への興味を持ってもらうきっかけとし、移住定住に繋げていく。

- ・ 委託費：5,368 千円

○歴史博物館デジタルアーカイブ構築業務委託

本市の歴史博物館では常設展示室の展示設備を更新し、展示内容の充実を図るため改修事業を進めており、令和8年度にリニューアルオープンを予定している。このリニューアルに連携し、歴史博物館が所蔵する約30,000件の資料を順次デジタルデータ化し、デジタルアーカイブの公開に向け、データの入力を進める。

- ・ 委託費：3,005 千円

○e スポーツ交流会事業

e スポーツは若者の生きがいづくりや ICT 人材の育成、高齢者の介護予防等、活用できる分野が多岐にわたり、新たなまちづくりのツールとして期待できる。2年目である本年度は、年々注目度が上昇している e スポーツを気軽に体験し、魅力を感じることができイベントを開催することにより、本市の新しい魅力として定着させ、交流人口、関係人口の創出のきっかけとする。

- ・ 負担金：4,000 千円

○喫茶文化振興事業

民間主導の協議会を設立し、喫茶PRマップやHP、幟旗等の作製、スタンプラリーやイベント等を開催し、本市の喫茶文化を市内外にPRするなど、喫茶文化の振興を図り、シビックプライドの醸成及び本市の魅力度向上を目指す。

- ・ 負担金：876 千円

○これからの公共交通体感事業

自動運転バスなどこれからの公共交通を、未来を担う子供たちに見て、触れて、感じてもらうため、公共交通事業者と連携し、イベント等を開催する。前年に実施した事業の効果を検証し、その結果を踏まえて、様々な公共交通利用促進施策を推進していき、本市にとって、観光や日常生活等様々な場面において、非常に重要な交通手段であるバスに関心を持ち、自動運転にいち早く取り組む本市へのシビックプライドの醸成を目指す。

- ・ 負担金：2,500 千円
- ・ 消耗品費：320 千円
- ・ 印刷製本費：37 千円
- ・ 委託費：573 千円

○岐阜市中小企業等 DX 研修補助金

生産年齢人口が年々減少している中、DXによる業務の効率化や多様な働き方により若者に選ばれる企業となる必要がある。しかし令和5年7月の市内景況調査でDXの取り組み状況を調査したところによると、

49.4%の企業が取り組みの予定なしと回答しており、市内企業にDXがあまり浸透していないことが分かった。また、DXに向けた課題では、「スキル・ノウハウがない」「人材の不足」で41.5%を占めている。そこで市内中小企業が人材育成のためにDX研修を受講する費用に対して継続的に補助を行うことで、DXに取り組む企業を増やし、地域経済の活性化につなげる。

- ・補助金：480 千円

○スタートアップ創出事業

本市が以前より力を入れて取り組んでいるスタートアップ支援事業をさらに拡大して取り組む。市内の Neowork-Gifu を活用し、起業家等との交流イベントを継続していくことに加え、首都圏や愛知県での誘致活動や近隣大学との連携強化等を図ることにより、本市でのスタートアップ企業の創出を目指す。

- ・委託費（専門家派遣業務）：752 千円
- ・委託費（GIFU IGNITE in TOKYO 業務）：2,160 千円
- ・委託費（大学連携業務）：260 千円
- ・印刷製本費：100 千円
- ・賃料：1,056 千円
- ・負担金：275 千円
- ・報償費：740 千円

○新卒人材採用ブランディング補助金

2040 年の本市の人口構成では生産年齢人口が 55.3%になると推定されており、今後労働力不足の状態が慢性化することが懸念されているなか、岐阜県内の有効求人倍率は高止まりし、市内中小企業は市内の人材のみで労働力を充足するのが困難な状況にある。そこで広く全国から新卒人材の採用に挑戦する市内企業を対象に、自社の労働市場におけるブランド力を高めるための「採用ブランディング」の取り組みの経費を継続的に補助していくことで、企業の採用力向上と労働人口の増加を目指す。

- ・補助金：5,000 千円

○タクシー運転手雇用支援事業

本市において、タクシーは観光や日常生活に欠かせない交通手段であるが、運転手が減少傾向にある。そこでタクシーの公共交通としての重要性や、運転手の魅力等を紹介する冊子を作成・配布することで、タクシーの利用促進とともに、タクシー運転手の人材確保を目指す。

- ・負担金：600 千円

○ワークダイバーシティ & 働きがい改革推進事業

岐阜市ワークダイバーシティ & 働きがい改革推進協議体の理念や目指すべき方向性を市内企業に波及させ、岐阜市の企業が人々から選ばれる企業になるとともに、市内の雇用を創出する。2 年目では、1 年目に引き続き大学生や求職者、一般市民を対象に、企業説明会及び交流会等を開催し、協議体の PR を行う。

- ・報酬：92 千円
- ・旅費：10 千円
- ・需用費：1 千円
- ・委託費：3,830 千円

●交付対象事業費におけるハード事業経費

○これからの公共交通体感事業

自動運転バスなどこれからの公共交通を、未来を担う子供たちに見て、触れて、感じてもらうため、岐阜市科学館において、自動運転バスの乗車体験や自動運転技術の展示などを、モビリティマネジメントの一つとして実施する。その他にも、官民連携の取り組みとして、交通事業者などと公共交通イベントを併せて開催する。それにより本市にとって、観光や日常生活等様々な場面において、非常に重要な交通手段であるバスに関心を持ち、自動運転にいち早く取り組む本市へのシビックプライドの醸成を目指す。

- ・備品購入費：70 千円（DVD、展示用照明器具）

<2026 年度（3 年目）>

●交付対象事業費におけるソフト事業経費

○地区別ワークショップ

地域に関係する様々なステークホルダーがワークショップを通じて連携し、自分たちの住む地域の課題を見つけ、解決策を考えていくことで、住民自治の意識を形成していく。3 年かけて市内の全校区でワークショップを開催し、1 巡ごとにワークショップのテーマを設定する。1 巡目は、地域の宝である子どもたちを地域全体で守り、育む意識の向上を目指し、通学路の安全をテーマとしてワークショップを開催する。3 年目となる本年度は、2 年目でワークショップを開催した 15 校区については、結果をもとにした対策を進めていき、次の 15 校区でワークショップを開催する。

- ・委託費：4,000 千円
- ・需用費：1,180 千円
- ・使用料及び賃借料：820 千円

○移住定住情報発信事業

3 年目には、新たな市内外のローカルキーマンを迎えて、これまでのローカルキーマンとは違った視点で、岐阜で暮らすことの魅力を発掘し、岐阜ならではの暮らしを体感できるイベントや、その魅力を発信するイベントを開催していく。1 年目・2 年目時点とは別の本市の魅力を発掘・発信することで移住定住に繋げていく。

- ・委託費：5,368 千円

○歴史博物館デジタルアーカイブ構築業務委託

本市の歴史博物館では常設展示室の展示設備を更新し、展示内容の充実を図るため改修事業を進めており、令和 8 年度にリニューアルオープンを予定している。このリニューアルに連携し、歴史博物館が所蔵する約 30,000 件の全資料をデジタルデータ化し、デジタルアーカイブを公開する。それによりどこでも本市の魅力的な歴史、文化に触れることができ、本市のファンの獲得につなげる。

- ・委託費：3,005 千円

○e スポーツ交流会事業

e スポーツは若者の生きがいづくりや ICT 人材の育成、高齢者の介護予防等、活用できる分野が多岐にわたり、新たなまちづくりのツールとして期待できる。3 年目である本年度は、年々注目度が上昇している e スポーツを気軽に体験し、魅力を感じることができるイベントを開催することにより、本市の新しい魅力として定着させ、交流人口、関係人口の創出のきっかけとする。

- ・負担金：4,000 千円

○喫茶文化振興事業

民間主導の協議会を設立し、喫茶PRマップやHP、幟旗等の作製、スタンプラリーやイベント等を開催し、本市の喫茶文化を市内外にPRするなど、喫茶文化の振興を図り、シビックプライドの醸成及び本市の魅力度向上を目指す。

- ・負担金：876千円

○これからの公共交通体感事業

自動運転バスなどこれからの公共交通を、未来を担う子供たちに見て、触れて、感じてもらうため、公共交通事業者と連携し、イベント等を開催する。前年に実施した事業の効果を検証し、その結果を踏まえて、様々な公共交通利用促進施策を推進していき、本市にとって、観光や日常生活等様々な場面において、非常に重要な交通手段であるバスに関心を持ち、自動運転にいち早く取り組む本市へのシビックプライドの醸成を目指す。

- ・負担金：2,500千円
- ・消耗品費：320千円
- ・印刷製本費：37千円
- ・委託費：573千円

○岐阜市中小企業等DX研修補助金

生産年齢人口が年々減少している中、DXによる業務の効率化や多様な働き方により若者に選ばれる企業となる必要がある。しかし令和5年7月の市内景況調査でDXの取り組み状況を調査したところによると、49.4%の企業が取り組みの予定なしと回答しており、市内企業にDXがあまり浸透していないことが分かった。また、DXに向けた課題では、「スキル・ノウハウがない」「人材の不足」で41.5%を占めている。そこで市内中小企業が人材育成のためにDX研修を受講する費用に対して継続的に補助を行うことで、DXに取り組む企業を増やし、地域経済の活性化につなげる。

- ・補助金：480千円

○スタートアップ創出事業

本市が以前より力を入れて取り組んでいるスタートアップ支援事業をさらに拡大して取り組む。市内のNeo-work-Gifuを活用し、起業家等との交流イベントを継続していくことに加え、首都圏や愛知県での誘致活動や近隣大学との連携強化等を図ることにより、本市でのスタートアップ企業の創出を目指す。

- ・委託費（専門家派遣業務）：752千円
- ・委託費（GIFU IGNITE in TOKYO 業務）：2,160千円
- ・委託費（大学連携業務）：260千円
- ・印刷製本費：100千円
- ・賃料：1,056千円
- ・負担金：275千円
- ・報償費：740千円

○新卒人材採用ブランディング補助金

2040年の本市の人口構成では生産年齢人口が55.3%になると推定されており、今後労働力不足の状態が慢性化することが懸念されているなか、岐阜県内の有効求人倍率は高止まりし、市内中小企業は市内の人材のみで労働力を充足するのが困難な状況にある。そこで広く全国から新卒人材の採用に挑戦する市内企業を対象

に、自社の労働市場におけるブランド力を高めるための「採用ブランディング」の取り組みの経費を継続的に補助していくことで、企業の採用力向上と労働人口の増加を目指す。

- ・補助金：5,000 千円

○タクシー運転手雇用支援事業

本市において、タクシーは観光や日常生活に欠かせない交通手段であるが、運転手が減少傾向にある。そこでタクシーの公共交通としての重要性や、運転手の魅力等を紹介する冊子を作成・配布することで、タクシーの利用促進とともに、タクシー運転手の人材確保を目指す。

- ・負担金：600 千円

○ワークダイバーシティ&働きがい改革推進事業

岐阜市ワークダイバーシティ&働きがい改革推進協議体の理念や目指すべき方向性を市内企業に波及させ、岐阜市の企業が人々から選ばれる企業になるとともに、市内の雇用を創出する。3年目では、1、2年目の取組である大学生や求職者を対象とした説明会や、協議体参加企業の経営者等による具体的な取組事例等を聞くことができる交流会を開催を継続して実施していくことで、本市のワークダイバーシティへの取り組みを市内に定着させる。

- ・報酬：92 千円
- ・旅費：10 千円
- ・需用費：1 千円
- ・委託費：3,830 千円

●交付対象事業費におけるハード事業経費

○これからの公共交通体感事業

自動運転バスなどこれからの公共交通を、未来を担う子供たちに見て、触れて、感じてもらうため、岐阜市科学館において、自動運転バスの乗車体験や自動運転技術の展示などを、モビリティマネジメントの一つとして実施する。その他にも、官民連携の取り組みとして、交通事業者などと公共交通イベントを併せて開催する。それにより本市にとって、観光や日常生活等様々な場面において、非常に重要な交通手段であるバスに関心を持ち、自動運転にいち早く取り組む本市へのシビックプライドの醸成を目指す。

- ・備品購入費：70 千円（DVD、展示用照明器具）